

#### Ⅳ 自立する力の育成 [※東部教育事務所「進路指導・キャリア教育」のページ](#)

##### 1 進路指導・キャリア教育の推進

###### (1) 児童生徒理解に基づくキャリア教育の推進

###### 【小学校・義務教育学校前期課程】

- 児童の生活や意識あるいは家庭、地域の実態把握
- 育成する能力・態度の重点化
- 適時性や系統性などに配慮した諸活動の展開

###### 【中学校・義務教育学校後期課程】

- 生徒の能力・適性、興味・関心や将来の進路希望等の把握
- 希望する進路先の進路情報や合格の可能性等のアドバイスなど、生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導



埼玉県マスコット「コバトン」

###### (2) 計画的、組織的な進路指導・キャリア教育の推進

- 教育活動全体を通じて、計画的・組織的に進路指導・キャリア教育を推進するための校内の推進体制の整備

※各学校が、それぞれの課題を踏まえて、子供たちが望ましい勤労観や職業観を身に付け、自分のよさや得意分野を生かし、生き生きと学校生活に取り組めるよう、計画的・組織的な見取りと点検を行う。

- キャリア・パスポートの効果的な活用

※児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫する。

※ [「キャリア・パスポート」例示資料等について](#) (文部科学省)

※ [「キャリア・パスポート「わたし\(私\)の志ノート」改訂版](#) (埼玉県教育委員会)

※ [「キャリア・パスポート活用事例」](#) (埼玉県教育委員会)

###### (3) 進路指導・キャリア教育に関する啓発的経験の充実と学校種間等との連携強化

###### 【小学校・義務教育学校前期課程】

- 学校や家庭での諸活動の中で役割を果たすことを通して得られた、「自身のよさ」や「得意分野」を生活の中に生かそうとする意欲や態度の涵養
- 身の回りの職場や施設の見学、地域の方を招いての講演会等を通じた、職業に対する基礎的・基本的な内容の理解

###### 【中学校・義務教育学校後期課程】

- 自己の進路を設計するための職業や社会との関わりについての情報収集
- 積極的な高校情報を収集及び、進路指導への活用
- 家庭・地域との連携、協力体制の構築

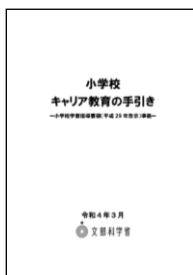
※ [進路指導・キャリア教育に関する資料\(高校入試関係を含む\)](#) (H28.3 埼玉県教育委員会)



#### (4) 手引き・パンフレット等

##### □キャリア教育の手引き（文部科学省）

[小学校キャリア教育の手引き（R4.3）](#)



[中学校・高等学校キャリア教育の手引き（R5.3）](#)



##### □パンフレット（国立政策研究所）

[「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」パンフレットーキャリア教育が促す「学習意欲」ー（H26.3）](#)



[キャリア教育をデザインする「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」ー小・中・高等学校における年間指導計画作成のためにー（H24.8）](#)



[小・中・高等学校における基礎的・汎用的能力の育成のために「学校の特色を生かして実践するキャリア教育」（H23.11）](#)



[「キャリア教育の更なる充実のためにー期待される教育委員会の役割ー」（H23.2）](#)



[「自分と社会をつなぎ、未来を拓くキャリア教育ー中学校におけるキャリア教育推進のためにー」（H21.11）](#)



[「自分に気付き、未来を築くキャリア教育ー小学校におけるキャリア教育推進のためにー」（H20.3）](#)



##### □その他（国立政策研究所）

- ・ [「キャリア教育体験活動事例集（第1分冊）ー家庭や地域との連携・協力」（H20.3）](#)
- ・ [「キャリア教育体験活動事例集（第2分冊）ー家庭や地域との連携・協力」（H21.3）](#)
- ・ [国立政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター](#)